

# 公孫樹 (いちょう) 10月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

## 安心・安全について考える

～不審者対応：自分の身を守るのは自分自身です～

大変残念なことです。2学期に入って下校中の生徒の後をつけるという不審者が本校学区内に出没しました。

10月1日(木)18時頃、行田中学校から栄文堂までの道路上において、女子生徒が自動車に乗った男性に後をつけられるという事案が発生しました。車は銀色の軽自動車だったとのこと。9月17日(木)にも、富士見ヶ丘幼稚園付近での不審者の情報もありました。幸い2件とも生徒はその場から逃れ、被害はありませんでした。



また、10月8日(木)に通知したとおりですが、朝7時頃熊谷女子高校付近でナイフらしき物を所持した中年男性の目撃情報もありました。

不審者の手口で最も多いのは、「バス停はどこですか？」などと道を聞くふりをして近づき、急に抱きついてくるようなケースです。本当に道を聞いているとしたら教えないと不親切と思われるので、見極めに困ります。その時に大切なことは「**相手との距離感**」です。手を伸ばされてもつかまらない距離を保つことが必要です。**必要以上に距離をつめてきたら、「相手は不審者かもしれない」と疑いをもつことも必要**です。また、「重い荷物を運ぶのを手伝ってほしい」と**困っている人を装う**ケースもあります。これも要注意です。

本校でも下校時の見回りを強化するとともに、行田警察署にも警備を依頼しましたが、不審者はいつどこに出没するかはわかりません。

身の危険を感じたら「大きな声を出して助けを呼ぶ」、「逃げる」ことを心がけてください。

**身のきけんを感じたら?**

①おおきな声をだして助けを呼ぶ  
②逃げる

そして、すばやく110番通報をしてください。また、余裕があれば、不審者の特徴や、自動車に乗っていればそのナンバーなどを記憶、記録しておくことも大切です。

**自分の身を守るのは自分自身です。**

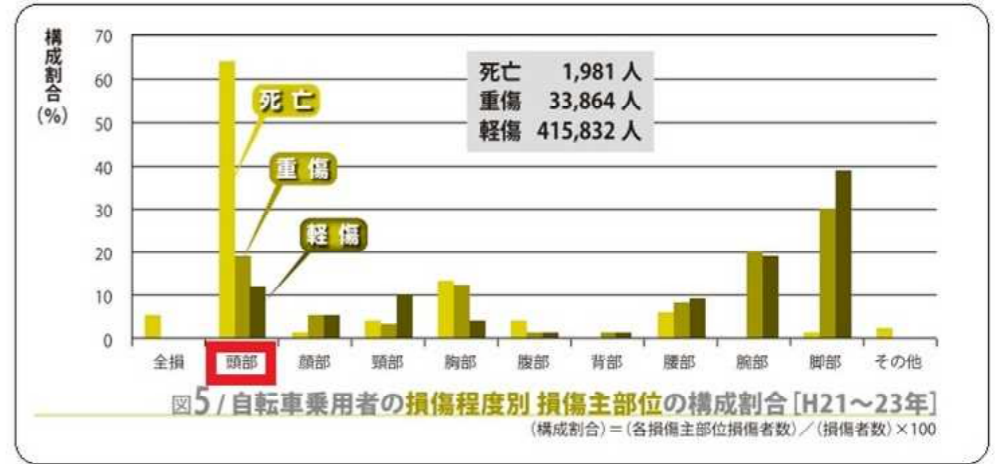
## 自転車利用者の安全確保について

～自転車利用者はヘルメットを着用します～

右のグラフからわかるとおり、自転車事故による**死亡者の割合で最も多いのが頭部の64%**です。頭部に損傷を負うと、死亡に至る重大事故につながります。**ヘルメットを着用していれば死亡率は4分の1に減る**というデータもあります。

自転車は、自動車やバイクに比べて「手軽な乗り物」なので油断を生みがちですが、まずは頭部を守る、つまりヘルメットを着用することが何よりも大切です。

また、平成27年6月1日に「行田市自転車安全利用促進条例」が施行され、その第5条に、児童生徒の乗車用ヘルメットの着用が定められました。



第5条 幼児（満1歳から小学校就学の始期に達するまでの者）、児童（小学生）又は生徒（中学生）の保護者は、幼児、児童又は生徒を自転車に乗車させるときは、乗車用ヘルメットを着用させるよう努めなければならない。

本校でも、自転車の安全利用を促進するために今年度を準備期間とし、平成28年4月から自転車利用者のヘルメット着用を実施することとしました。これは、市内の自転車通学者ヘルメット未着用の中学校（忍中・長野中・西中）とも同じ歩調を進めてまいります。なお、ヘルメットの選定や決まりについては今後検討していきます。

## 行田探訪 その2 童（わらべ）人形通り

キツネ踊り

01～39 わらべ人形 (1)～(6) 行田物語

トウガラシ売り

行田市・わらべ人形通り わらべ人形・行田物語 配置図

皆さんは「童（わらべ）人形通り」を知っていますか？

行田市役所から大長寺まで約1 Kmに、銅板作家「赤川 政由」氏作のわらべ人形39体が設置されています。「はねつき」とか「こま回し」など、昭和の始め頃の子どもの遊びや風習を表現しています。電線地中化の整備事業に伴い平成10年に整備されました。このわらべ人形たちには、里親制度があり、1体1体に名付け親がいます。わらべ人形は全部で40体作られたそうですが、赤川氏によると、その内の1体はアメリカのサンタフェにある「チルドレンミュージアム」に遊びに行ったまま帰ってこないとのこと。

39体の中には女の子が12人います。女の子の櫓（やぐら）には、「雨に濡れてはかわいそう」と屋根が付いています。